日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

様　式　Ｆ－７－１

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（令和元年度）

機関番号	３２６０４

所属研究機関名称		大妻女子大学
研究代表者	部局	国際センター
	職	講師
	氏名	森　功次

１．研究種目名　若手研究

２．課題番号　19K12993

３．研究課題名　理想的観賞者説の改訂・展開による、複合文化的な美的経験論の構築

４．補助事業期間　令和元年度～令和４年度

５．研究実績の概要

本年は現代の理想的観賞者説の検討作業、および、芸術的価値をめぐる近年の論争を精査する作業を中心的に進めた。
　まず書籍としては、『よくわかる哲学・思想』に項目「サルトル」「美の哲学」を執筆した。論文としては『フィルカル』4(2)に論文「観賞前にネタバレ情報を読みに行くことの倫理的な悪さ、そしてネタバレ許容派の欺瞞 」を掲載した。口頭発表では、まず7月に「専門家の意見はわたしの美的判断にどう関わるのか：理想的観賞者と個人的判断との関係をめぐる現代の論争とその展開」というタイトルで、第17回一橋哲学・社会思想セミナーにおいてレクチャー講演を行い、11月には瀬戸内哲学研究会、ワークショップ「芸術的価値」において「芸術的価値をめぐる現代の論争:ロバート・ステッカーの議論を中心に」というタイトルでレクチャー講演を行った。 また、9月には、宇宙開発フォーラムにて、「宇宙開発における芸術」というタイトルで講演、翌年1月には、第70回美学会全国大会開催校企画シンポジウムにおいて「学術的規範の多様性を維持していくということ――美学会の使い方」というタイトルで講演を行った。
　ほか、アウトリーチ活動として、WEB媒体に以下の記事を執筆した。
-「「あいトリ」騒動は「芸術は自由に見ていい」教育の未路かもしれない」『現代ビジネス』2019年10月
-「あいトリ「燃やされた天皇の肖像」「放射能最高！」を批判するなら知っておきたいこと」『文春オンライン』2019年10月

６．キーワード

分析美学　芸術的価値　美的価値　美的経験　サルトル　ネタバレ　美学　現代アート

７．現在までの進捗状況

区分　（2）おおむね順調に進展している。

理由
口頭発表の準備に追われ、論文の執筆を進めることがあまりできなかった。

現在進行中のプロジェクトとしては、周りの若手研究者たちと共同で、分析美学の重要な論者であるフランク・シブリーの論文集の翻訳計画を立ち上げた点がある。こちらは来年度の成果になることが見込まれる。

８．今後の研究の推進方策

今年度の目標は、「作者性」に関して昨年執筆した投稿論文を仕上げることである。
また、これまで執筆してきた論文をまとめて著作化する計画を立ち上げ、執筆を進めているが、昨年度より新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて対応に追われており、その執筆作業をあまりすすめることができていない。
オンライン授業をうまくこなしつつ、執筆を進めたい。

９．次年度使用が生じた理由と使用計画

次年度使用額が無いため、記入しない。

１０．研究発表（令和元年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計1件（うち査読付論文　0件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　0件）

１．著者名 森功次	４．巻 4(2)
２．論文標題 観賞前にネタバレ情報を読みに行くことの倫理的な悪さ、そしてネタバレ許容派の欺瞞	５．発行年 2019年
３．雑誌名 フィルカル	６．最初と最後の頁 76-101
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

〔学会発表〕　計4件（うち招待講演　4件／うち国際学会　0件）

１．発表者名 森功次
２．発表標題 専門家の意見はわたしの美的判断にどう関わるのか：理想的観賞者と個人的判断との関係をめぐる現代の論争とその展開
３．学会等名 第17回一橋哲学・社会思想セミナー（招待講演）
４．発表年 2019年

1．発表者名 森功次
2．発表標題 宇宙開発における芸術
3．学会等名 宇宙開発フォーラム（招待講演）
4．発表年 2019年

1．発表者名 森功次
2．発表標題 芸術的価値をめぐる現代の論争:ロバート・ステッカーの議論を中心に
3．学会等名 瀬戸内哲学研究会（招待講演）
4．発表年 2019年

1．発表者名 森功次
2．発表標題 学術的規範の多様性を維持していくということ――美学会の使い方
3．学会等名 第70回美学会全国大会（招待講演）
4．発表年 2020年

〔図書〕　計1件

1．著者名 納富　信留、檜垣　立哉、柏端　達也	4．発行年 2019年
2．出版社 ミネルヴァ書房	5．総ページ数 232
3．書名 よくわかる哲学・思想	

１１．研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

１２．科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

１３．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

－

１４．備考

－